

高志高校生が県内企業のイベントにボランティア参加 ～地域・企業とつながる高志高校生の取組を紹介します～

高志高校3年生の木下さん、辻さん、吉川さん、盛政さんが、5月29日（日）に大麦倶楽部（福井市殿下町）で行われたイベント「2022からだと地球に優しい大麦 de 体験しよう SDGs」に参加しました。

4人は、大麦の加工食品を製造・販売する同社の支援を受けながら、「麦ストローで変わるプラスチックの未来」というテーマで課題研究に取り組んでいます。

この日のイベントには、親子など20人を超える人たちが参加。SDGsに通じる活動として、①麦畑で黄金色の大麦収穫とマイ麦ストロー作り、②食べられるお皿で大麦カレーライスのランチ、③麦わらでヒンメリ作りを体験しました。そして、もう一つ、高志高校生による課題研究発表。4人は、自分たちが取り組んでいる課題研究の概要を、参加者に向けてプレゼンしました。参加者からは、「とてもわかりやすく、興味がわいた」といった感想や「これからも課題研究をがんばって」などの応援メッセージがありました。

4人は、上記①～③の各活動にも参加するとともに、アンケートの配付・回収やお土産配りなど、スタッフとしての仕事にも協力。参加者の皆さんと楽しい時間を過ごしたようです。

ちなみに、大麦倶楽部の社長 重久 弘美さんは、高志高校の卒業生。日本一の生産量を誇る六条大麦に着目して会社を興し、SDGsにつながる麦わらストローも開発しました。今回の高志高校生には、「メールなどでとても丁寧な対応をしてくれる」と好印象で、「市内の喫茶店で麦わらストローを使ってもらうように交渉してくるなど、積極性や行動力がすごい」と感心していらっしゃいました。

